

平上水道擴張にからみ

好間・平兩當局紛爭

平町の契約不履行を怒り
好間村長が抗議を提出す

平町當局の態度注目さる

五万人給水を目標とする平

町上水道の大擴張工事は今

夏見事に竣工し三万町民は

半永久的に水不足の煩みか

ら解放されるに至つた

が此の上水道擴張にからま

り平町對好間村及び大瀧江

筋組合三當局内に容易なら

ざる紛争惹起したるもの、

如く最近極秘裡に好間村長

表者は平町に伏見町長と會

見何事か重大な抗議を爲し

た事實がある

早生赤梨出荷

今日三百廿四を

郡農會が斡旋

石城郡農會の斡旋で東京市

場に出荷して好評を受けた

石城名産長十郎梨の移出は

終つたので同會では引續き

早く計畫してゐたが本日好

間村上好間果樹組合により

早生赤梨の東京移出をなす

十箱の初移出したが何しろ

初めての試みだけに結果は

各方面から注目されてゐる

考 虑 し 平町はモータ

ー揚水器を設置提供する事

になりこれを実行して來た

が今春に至り平町は突如

に揚水器を無断で取り除く

した結果金成村長等の激怒

する處となり前記の如き抗

議提出を見るに至つたも

調停法講演

役員決定

準備進む

磐女競技會

日午後七時より丸友ホール

に於いて例會を催し平區裁

判所監督判事中島十藏氏の

金錢債務臨時調停法に就い

ての講演がある

た

(會長)正木校長(副會長)

中川教頭(平)鈴木應

高女學校の第十九回陸上

競技員は次の如く決定し

た

松浦 古澤(接待)佐々木

平町十三日會では来る十三

待望の平商業

グラウンド竣工

披露をかねて

スポーツチ大會

十四日に

講演決定

兵隊の

おはさんが

昨報

平町の各種婦人團体で有

は満洲兵隊のおばさんで有

木村外科醫院

△田村郡御館村字折戸二十
六今泉源龜(一五)大工町
△南町三十五
△新川町十七 遠藤春治氏
△二男茂
△南町四千代子
△氏四女千代子
△十九上野トクエ(一四)
△田村五丁目橋際
△電話三〇九

皆川 大川 近藤 木幡
羽山(賞品及記錄) 淡路
(會場整理)田中 小沼(タイ)
内村(會計)佐藤 大内
(召集指導)山口 鈴木
菅波 安延 武田(トラ)
ツク審判)穴井 日野
(フカルド審判)新妻 小沼

江名方部
稲の初刈
昨年より
やや豊作

名な中村町出身の橋本榮子
女史の講演會を催すべく交
渉の結果来る十四日午後六時半より平署會議室に於いて講演會を催す事に決定した

日取決定
平町人事
回出生
回婚姻
日、内郷尋高十二日、草野
校十四日、神谷小學校二
日、内郷尋高十二日、草野
は満洲兵隊のおばさんで有

△田村郡御館村字折戸二十
六今泉源龜(一五)大工町
△南町三十五
△新川町十七 遠藤春治氏
△二男茂
△南町四千代子
△氏四女千代子
△十九上野トクエ(一四)
△田村五丁目橋際
△電話三〇九

時半より平署會議室に於いて講演會を催す事に決定した

日取決定
平町人事
回出生
回婚姻
日、内郷尋高十二日、草野
校十四日、神谷小學校二
日、内郷尋高十二日、草野
は満洲兵隊のおばさんで有



禁轉載上演及映畫

悟道軒圓玉演

手造酒

近藤紫雲畫

第百七十二席

平

豫て聞いて居つたには下總飯岡の助五郎と申す者は關東有名な俠客との事、此者の方に參り一二年彼處で遊ばうと市川まで來た、丁度晝頃でした花屋と云ふ小料屋に

綺麗な金遣ひ
平手造酒は江戸を立退き豫て聞いて居つたには下總飯岡の助五郎と申す者は關東有名な俠客との事、此者の方に參り一二年彼處で遊

ばうと市川まで來た、丁度晝頃でした花屋と云ふ小料屋に

造『酒を持って來い』
と注文した
女『入らつしやいまし、どうぞ此方へお上り下さい』

造酒は草鞋を脱いで店に上り衝い立を前にして壁際に陣取り
造『酒を一升持つて來い』
云ふと女中は吃驚して造酒の顔を見てゐたが
女『あの一升持つて參りますか』

造『さうだ一合や二合は面倒だ、一升持つて來い』
女『畏りました、お肴は何にいたしませう』

造『どんな物が出来る』
女『お茶碗にお刺身、それには鯉の洗肉に鯉汁でござります、その他に鹽燒又甘煮もございます』

造『それでは洗肉に鹽燒を持つて参れ』
女中はやがてお酒を持つて参れ

造『これ／＼女、あの客は刺身を持って参つて何うされでは甘煮を持つて参れ』

造『これは前からのお説でござります』

造『黙れ此奴、俺の身装が皆賣れ切れか』

造『さうか、何ぞ酒の肴に

う』
とこの事を女中に注意した、平手はそんな事は気が附かない
造『コレ／＼女、刺身があるば持つて参れ』

女『お生憎様、もうお刺身はございません』
造『それでは甘煮を持つて参れ』
造『お氣の毒様でございますが甘煮もございません』

造『皆賣れ切れか』
女『左様でござります、仕出しが出来ましたからお肴はなくなりました』

造『さうか、何ぞ酒の肴に

概な所で追返す事にしよ

つとした服装でこれも鹽燒で酒を飲んでゐる客がある

は忠義者だな、さうとは知らず怒つたは俺が悪かつた

コレ女それに散つてゐる金を拾へ、その内一兩遣はすそれは貴様の忠義を賞する

爲だ』
女『有難う存じます、一兩などと云ふ大金をお貰ひ申しては済みません』

造『貴様には大金であらうが俺は大金などとは思はぬ』
これを見てゐた例の客は武士としては金遣ひが綺麗だと感心した造酒は金を財布に入れ猶も女中に酒肴を申附ける……。

と貴公の云ふ通りこの女中は忠義者だな、さうとは知らず怒つたは俺が悪かつたコレ女それに散つてゐる金を拾へ、その内一兩遣はすそれは貴様の忠義を賞する



質物一般

三井質店

岸川目丁四町平番六〇電話

一冊の代金で
御希望通りな
自由に讀める
五冊の雑誌が

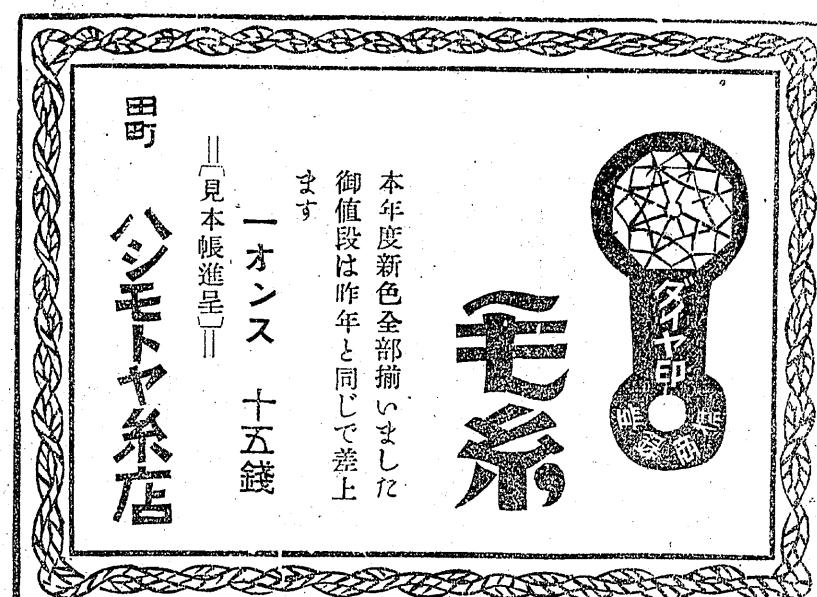
川崎巡回文庫

(○) 第六三〇番

度量衡、計量器、吸入
用酸素、酸素吸入器

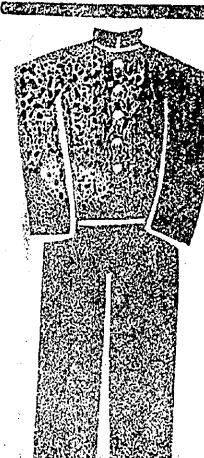
關內藥局

電話四〇番



學生服賣出

溫かい通學服を豊富に取揃へ特價にて提供
小學用(長ズボン付)
全中學用特製品
中學用特製品
倉庫へ



二
平冠203
あかや洋服店